

## 令和2年度春日井市道風記念館運営協議会審議結果

### 議題

議題1	令和元年度事業報告について	意見なし	8、意見あり1
議題2	令和2年度事業計画について	意見なし	8、意見あり1
議題3	会長の選出について	中村 強	8、委員一任1

### 結果

議題1から2について、過半数の「意見なし」をもって可決された。

議題3について、過半数の推薦をもって「中村 強」氏が会長として選出された。

### 議題1についての御意見

- Q1 学芸員による展示品解説は、パネル、キャプションによる一方向、固定的な解説を補うよい方法なので今後とも継続していただきたい。
- A1 学芸員による展示品解説は、これまでと同様に継続開催できるよう企画を進めてまいります。新型コロナウイルス感染拡大防止のため3密を避ける対策として、現在開催中の「つづき書きの妙」については中止いたしますが、今後の状況を考慮し再開させていただきます。

### 議題2についての御意見

- Q1 「3 講座」の家族向けのワークショップの開催は、子どもだけでなく家族の参加により幅広い世代に関心を持ってもらい、書道の普及だけでなく家族の絆も深まると良い企画と考える。できればさらに枠を広げて参加者全員で一つのを創造する企画があってもよいのでは。
- イベントの際にマスコットの道風くんも参加すると子どもも喜び家族と一緒に記念写真を撮ることもできるので参加満足度がさらに上がると思う。
- A1 企画展「おののとうふう」の会期中に開催しているワークショップは、大変人気があり、毎年楽しみにしてくださっている方も多いと感じます。平日は仕事に忙しい保護者にも参加していただけるよう、開催日に休日も混ぜ込むなどの工夫をしています。
- 着ぐるみ道風くんをワークショップに参加させる場合の問題点として、書道実技のワークショップという性質上、着ぐるみが墨で汚れる危険性が高いこと、それから着ぐるみに入る人員の確保等の課題がありますが、前向きに検討いたします。

Q2 展覧会毎に用意配布されるフライヤ（展示作品の作家紹介と読み下しが記されたもの）は手元に置き鑑賞の手引きになるので、フライヤの紙面の制約もあるが、会場内に設置されている解説パネルの各章の解説を要約したものを加えることはできないか。

A2 基本的に展示作品の作者の略歴と作品の釈文を観覧者に配布しており、展覧会の章ごとの説明や鑑賞のポイントなどをパネルにし、展示品解説がないときにも鑑賞のよすがとしていただけるようにしております。

確かにすべての展示品の作者略歴と釈文を記載しているため、情報量が多く、紙面に余裕はありません。

持って帰ることのできる配布資料に、学芸員の主観が入る作品鑑賞の部分を入れることは難しいですが、展覧会の主旨、各章の解説をわかりやすくまとめた短文などをできる範囲で入れるようにし、よりよい資料になるよう工夫をしております。

#### 議題4 その他の御意見等

Q1 元年度の企画展「おののとうふう～小野一族のひみつ～」は、準備された解説パネルと豊富な資料で、大変わかりやすい内容だった。2年度も子ども向けに計画されているようで良いことだと思う。

せっかく素晴らしい内容なので、今後、道風記念館だけでなく、高蔵寺ニュータウンなどの東部地区（例えば、グルッポふじとうや東部市民センター）でも巡回展示があると、さらに多くの子どもたちの関心が高まると思う。

A1 企画展「おののとうふう」で展示しているのは、館蔵の書作品、拓本、複製品などですが、複製品といえども質の良い価値のあるものです。環境の整った展示施設でなければ展示できないことをご理解ください。

周囲の方々へ道風記念館の展覧会の観覧をお勧めいただければ幸いです。

意見1 春日井市は文化スポーツ都市宣言をし、「書のまち春日井」を標榜している。今後益々書道文化の振興に努めることが期待され、その中心として道風記念館の役割が重要となる。道風公の正しい認識と、自己の深い省察の上に立って書道文化の大きな役割を果たすべく、効果的事業の展開を工夫すべきと思う。

意見2 春日井市や記念館からの広報だけでなく、私共、地元の書に携わっている者が、常に関係者に『良いものを見て（観て）何かを感じる』をコンセプトに声かけをしていきたいと考えている。